

# 感動一点 の場

りこう  
『漓江』

1980年 小川原 脩 画

暖かさ熱さを感じさせる色、一時停止、進入禁止、止まれなど注意や禁止を喚起する色はすべて赤色系統である。また、赤色は青色系統よりも大きく見えたり、同じ距離でも近くに見える効果があるとも云う。

小川原はこの赤系統の色を1960年代から頻繁に使い始める。

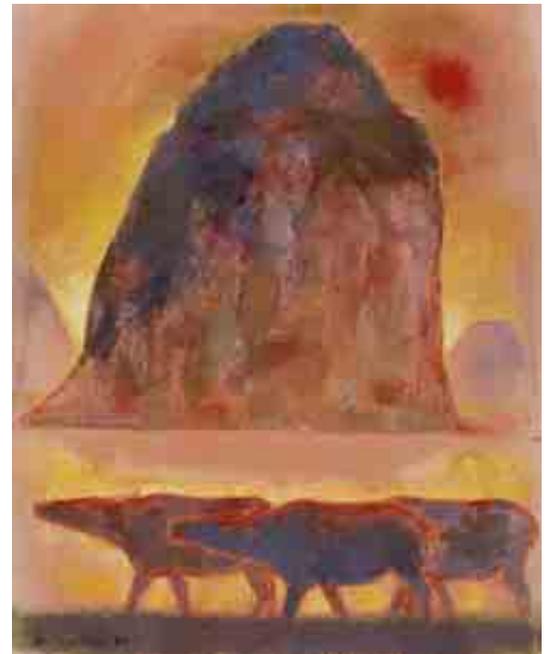
旧石器時代や縄文時代の原始シャーマニズムの世界をイメージした作品は、赤色を使うことによってその神秘性と非日常さを表現している。

その後の農耕馬はオレンジ色だ。

馬体の大きさとエネルギー感を誇張したのだろう。

1980年代からは象徴的な赤色系統に変化する。

本作品のような暖かくて、輝きを発するかのような赤である。



## ふる探訪 さと

335回

## あの時代 この時代



### その20 「排雪作業」 昭和50年初め頃

このマチには「これでもか」と雪が降ります。雪は自然界と人びとの生活に恵みを与えてくれますが、あわせて苦痛をも与えます。冬の生活はまさに雪との戦いです。

かつては積もった雪と屋根から降るした雪は道路へ積み上げ、道路の雪は軒下までの高さ。冬、倶知安のマチに車を走らせることはできませんでした。

除排雪に活躍するロータリーの導入は昭和42年12月、昭和51年には6台に増え、初めてグレーダーも導入されました。この時代、人びとは互いに協力し合い、雪に立ち向かっておりました。



＜北海道新幹線のシンボルマーク「北海道新幹線、次は札幌へ」＞

広報くっちゃん2月号  
NO 985  
平成23年2月1日発行

倶知安町の公式Webサイト  
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp>  
倶知安町役場代表 Eメールアドレス  
[info@town.kutchan.lg.jp](mailto:info@town.kutchan.lg.jp)

■発行・編集  
倶知安町企画振興課広報広聴係  
〒044-0001  
虻田郡倶知安町北1条東3丁目  
☎ 0136 22 1121 FAX 0136 23 2044  
■印刷 (有)旭太陽堂印刷



町の成人記念式典「はたちのつどい」が町文化福祉センターで行われ、137人の成人の門出を祝いました。式典には、99人が出席。成人者代表古谷沙里さんは「今までの経験を活かし、いかなる困難を乗り越え目的を達成し大きな花を咲かせます。」と誓いました。

今月の表紙

関連写真を紹介